青少年公園地区等のマトリクス

環境要素 -	影響要因了										_			_														
影響要因の区分					工事による影響							存在によ る影響				供用による影響									工事(会期終了後) による影響			
環境要素(の区分		細区分	資材等の運搬		(重機の稼動を除く) 土工= 切土・盛土・発破・掘削等	動工 を事く	(重機の稼動を除く)建築物等の建設	(重機の稼動を除く)仮設物等の解体	有害物質の使用では、	仮開う 日子 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	改変後の地形	改変後の河川・池沼	工作物等の出現「重重す交通の発生―アクセス	目動車等の走行―会場内及び周辺	人の入り込み利用	電力の使用	水使用 6 位月	有害勿質の使用	食料・物品の消費	場内放送等の実施	友別り 照月 等 ヘリコブター の発着	公園施設の利用制限	機材・廃材等の運搬	宣機)家加(重機の稼動を除く)	機の稼動を	空也工事 公園施設の利用制限	
環境の自然的構 成要素の良好な 状態の保持	大気環境	大気質	SO ₂ NO2 CO SPM 粉じん																									
		騒音	有害物質 建設工事騒音(Lmax) 自動車等交通騒音(L _{Aeq}) 複合騒音(L _{Aeq})	ŧ	Ė					+		#		#	H	+		#	ŧ	Ħ	#	+		+		Ħ	\sharp	
		振動	建設工事振動(Lmax) 自動車等交通振動(L10)	Ŧ	F					Ŧ	H	7	H	7	H	Ŧ	Н	Ŧ	Ŧ	F	Ŧ	Ŧ	H	Ŧ	H	F	\mp	
	水環境	悪臭 水質	臭気指数 SS PH T-N T-P																									
		底質 地下水	有害物質 底質 地下水位 地下水汚染									+		+				+	F								+	
	土壌環境・そ の他の環境		現況地形 土地の安定性 土砂流出		E					Ī		-		-		Ī		-	Ī	E		Ŧ		Ī				
		土壌 その他	土壤汚染 光害	Н	H				Ы	\pm	H	\pm	\coprod	\pm	\coprod	\pm	∄	\pm	\pm	H	\forall	\pm	Н	\pm	\vdash	士	$\pm H$	
生物の多様性の 確保及び自然環 境の体系的保全			注目すべき植物種 植生・注目すべき植物群落 注目すべき動物種 里地生態系		Ē														F	Ē								
人と自然との豊 かな触れ合い	と 景観 触れ合い活動の場		注目すべき視点からの眺め 注目すべき景観資源 注目すべき触れ合い活動の場		F					+		+		+		Ŧ		+	F	E		Ŧ		Ŧ			\exists	
環境への負荷			度乗物(物質循環) 発土 水循環	Ħ	Ė					+		#		#	Ħ	#		#	ŧ	Ħ		ŧ	H	+		Ħ	\sharp	
		温室効果ガス等	CO ₂ 熱帯材等外材使用	\pm	E					\pm	$oxed{\mathbb{H}}$	\pm		\pm	\blacksquare	\pm	$oxed{H}$	\pm	\pm	E	\exists	\pm	Н	\pm		\equiv	\pm	

< 影響要因の区分の考え方: 工事による影響:影響が工事中のみに限定される一過性の影響。工事による影響であっても永続的な影響は存在による影響に含める。 存在による影響:自然の改変、工作物の存在等物理的な整備によって生じる永続的影響。 供用による影響:整備後に繰り広げられる人間活動によって生じる影響。

注: 影響要因の区分の欄は、一般的な博覧会事業において想定される影響要因を掲げた「2005年日本国際博覧会環境影響評価要領」の標準例を基本としたが、本博覧会の目的及び事業実施にあたっての基本的方針を踏まえ、本博覧会事業の青少年公園地区においては影響要因に係る行為そのものを行わない工事中の「河川水等の取水」、「仮設宿舎の設置」、供用中の「エネルギーの使用(固定発生源)・石油系燃料の使用」、「地下水の採取」、「排水の発生」、「フロン・代替フロンの使用」については影響要因から除外した。また、新たに影響要因の区分に工事中の「重機の稼動」を追加することにより、重機の稼動に伴う騒音や大気汚染物質の発生による影響と、各種工事におけるその他の行為による影響とを明確に区分した。それにより、標準例により示された「基礎工(杭打工)」、「舗装工事」による影響は、全て「重機の稼動」によみ替えられることから、影響要因の項目から除外した。なお、青少年公園は現在一般市民に供されている公園施設であり、博覧会事業に伴う工事及び供用期間中に、当該公園施設の利用制限を伴うことから、影響要因に「公園施設の利用制限」を追加した。環境要素の区分の欄は、青少年公園は区においては影響要素に係る行為そのものを行わないことから「大気環境・低周波音」及び「水環境・BOD及びCOD」について、青少年公園地区においては対象河川が護岸工事等改修が行われていることから「水環境・河川流量、河川水温、水辺環境」について、青少年公園には軟弱地盤帯がないこと及び地下水の採取を行なわないことから「地盤・地盤沈下」について、青少年公園は既に人為的に整備された公園であることから「土壌・土壌(表土)」については環境要素から除外した。